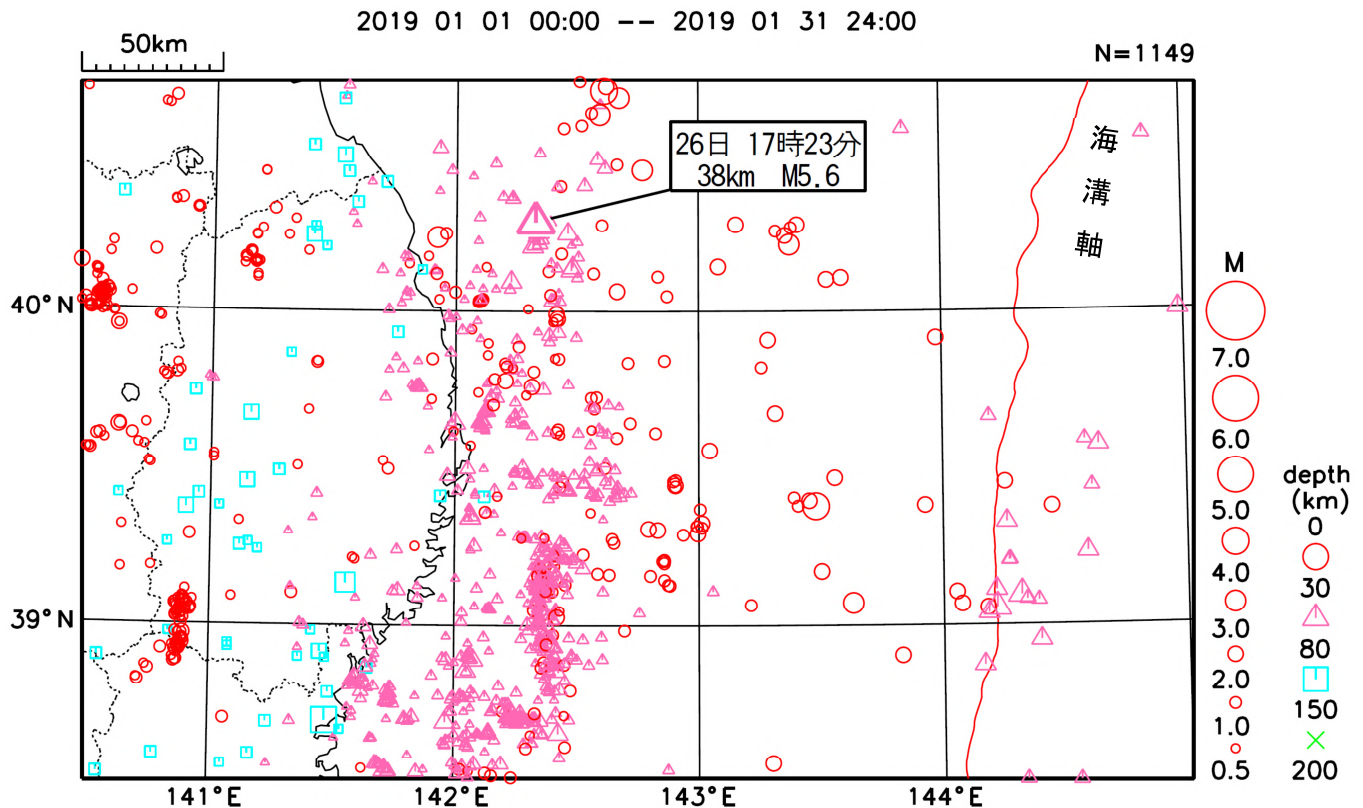


岩手県月間地震概況

2019（平成31）年1月

盛岡地方気象台

震央分布図



※吹き出しをつけた地震は概況でふれたものである。

【概況】

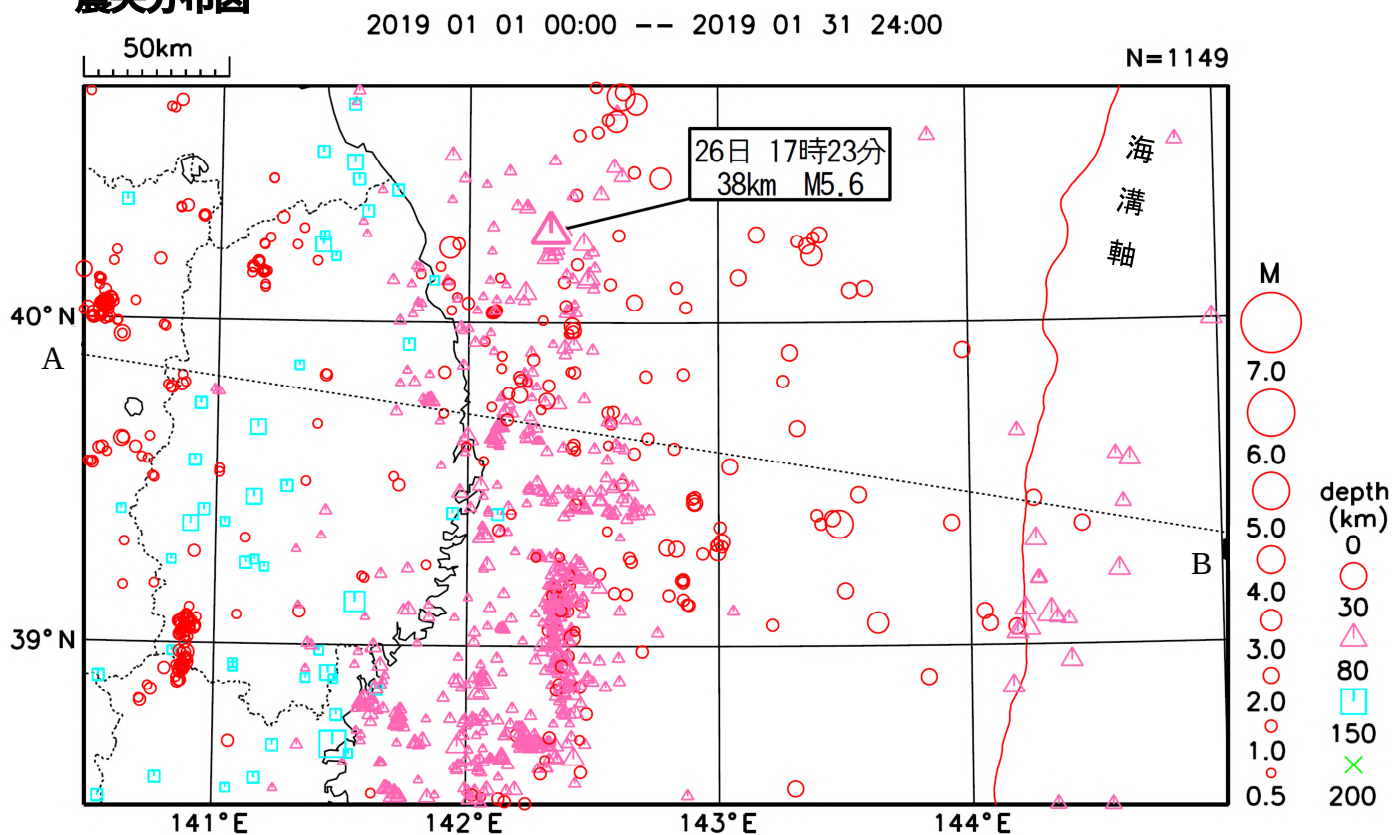
今期間、図の範囲内で観測した地震は1149回（先月1213回）、岩手県内で震度1以上を観測した地震は15回（先月22回）であった。

19日05時04分に青森県東方沖（図の範囲外）の深さ29kmでM4.9の地震が発生し、岩手県で震度3を観測したほか、北海道と東北地方で震度2～1を観測した。県内では、盛岡市で震度3を観測したほか、内陸と沿岸北部を中心に震度1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震とはほぼ同じ場所で、21日09時24分にも盛岡市で震度2（M4.5）の地震が発生している。

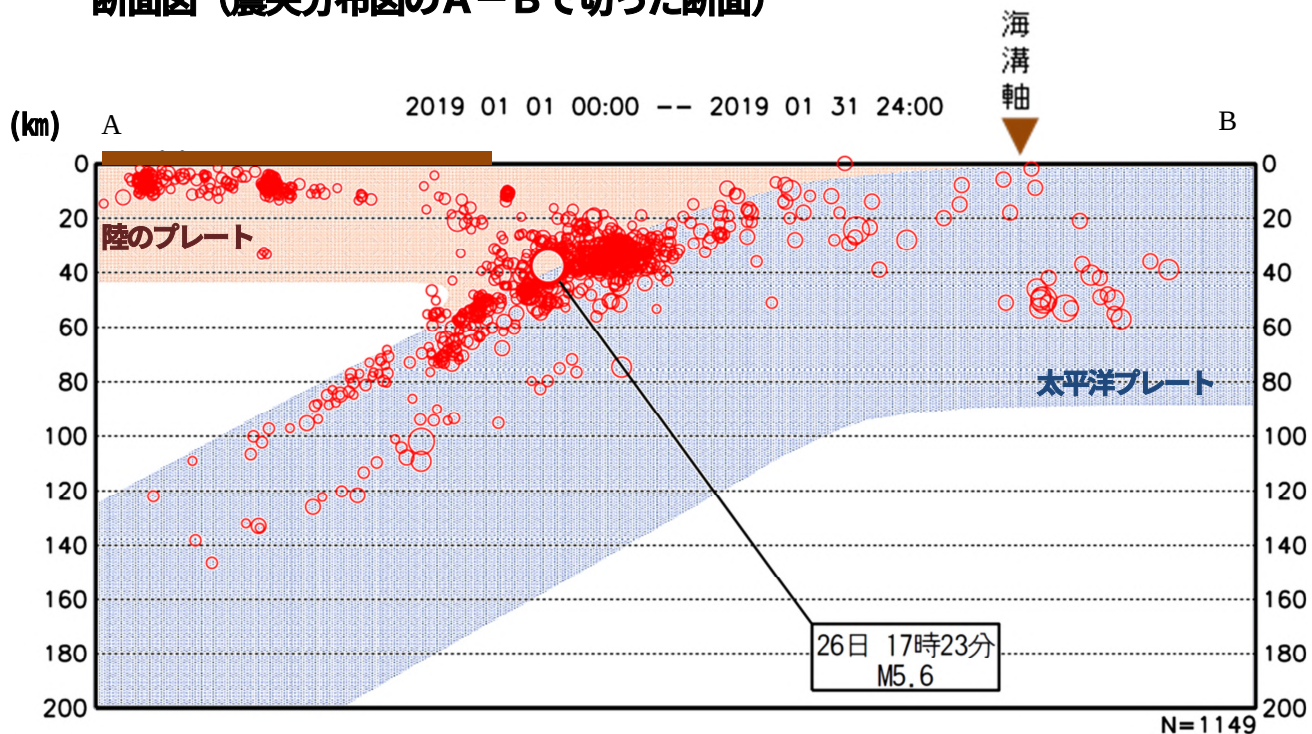
26日17時23分に岩手県沖の深さ38kmでM5.6の地震が発生し、青森県と岩手県で震度4を観測したほか、北海道と東北地方で震度3～1を観測した。県内では、盛岡市と普代村で震度4を観測したほか、全域で震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

【注】各地の震度の詳細については、「岩手県で震度1以上を観測した地震」の表を参照。なお、使用した震源要素等は再調査により変更することがある。

震央分布図



断面図（震央分布図のA－Bで切った断面）



※陸地から遠く離れた海域（概ね陸地から200 km以遠）ほど震源の深さ精度は良くない。断面図で見られる
沖合の地震の震源は、実際にはより浅いところ（深さ10～30km）のことが多いと考えられる。

※  は陸地の大まかな位置を示している。

※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

岩手県で震度1以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2019年1月1日～2019年1月31日

発 震 時	震 央 地 名	北 緯	東 経	深 さ	規 模
各地の震度					
2019年01月02日00時09分	宮城県沖 岩手県 震度1 : 大船渡市猪川町	38° 53.4' N	142° 04.6' E	45km	M3.6
2019年01月02日21時25分	岩手県沖 岩手県 震度1 : 盛岡市薮川* 盛岡市洪民* 八幡平市田頭*	40° 07.7' N	142° 28.4' E	34km	M3.8
2019年01月02日23時24分	宮城県沖 岩手県 震度1 : 大船渡市猪川町 一関市千厩町* 一関市室根町* 一関市藤沢町*	38° 51.2' N	142° 02.8' E	45km	M3.6
2019年01月04日22時38分	岩手県沖 岩手県 震度1 : 大船渡市大船渡町 大船渡市猪川町 釜石市只越町 釜石市中妻町* 住田町世田米* 遠野市青笹町* 一関市大東町 一関市室根町*	39° 20.4' N	142° 03.8' E	48km	M3.7
2019年01月06日17時34分	宮城県北部 岩手県 震度2 : 大船渡市大船渡町 大船渡市猪川町 陸前高田市高田町* 釜石市只越町 釜石市中妻町* 住田町世田米* 一関市大東町 一関市花泉町* 一関市千厩町* 一関市東山町* 一関市室根町* 一関市藤沢町* 一関市川崎町* 平泉町平泉* 奥州市胆沢* 奥州市衣川* 震度1 : 宮古市鉾ヶ崎 宮古市五月町* 宮古市川井* 宮古市区界* 宮古市田老* 宮古市茂市* 山田町八幡町 山田町大沢* 大船渡市盛町* 大槌町小鎚* 盛岡市山王町 盛岡市馬場町* 盛岡市薮川* 盛岡市洪民* 八幡平市田頭* 矢巾町南矢幅* 花巻市大迫町 花巻市石鳥谷町* 花巻市大迫総合支所* 花巻市材木町* 花巻市東和町* 北上市柳原町 北上市相去町* 遠野市青笹町* 遠野市宮守町* 金ヶ崎町西根* 西和賀町沢内川舟* 奥州市江刺* 奥州市前沢*	38° 41.7' N	141° 28.4' E	102km	M4.5
2019年01月13日09時18分	岩手県沖 岩手県 震度2 : 宮古市鉾ヶ崎 震度1 : 宮古市五月町* 宮古市川井* 宮古市区界* 宮古市田老* 宮古市茂市* 釜石市只越町 住田町世田米* 一関市大東町 一関市千厩町* 一関市室根町*	39° 38.5' N	141° 59.9' E	41km	M3.7
2019年01月14日23時14分	岩手県沖 岩手県 震度1 : 釜石市只越町 釜石市中妻町*	39° 38.8' N	142° 06.4' E	48km	M3.3
2019年01月16日05時20分	宮城県沖 岩手県 震度1 : 一関市千厩町* 一関市東山町* 一関市室根町* 一関市藤沢町* 平泉町平泉*	38° 42.8' N	142° 14.1' E	38km	M3.9
2019年01月19日05時04分	青森県東方沖 岩手県 震度3 : 盛岡市薮川* 震度1 : 宮古市区界* 久慈市川崎町 久慈市枝成沢 普代村銅屋* 岩手洋野町種市 盛岡市山王町 盛岡市馬場町* 盛岡市洪民* 二戸市福岡 二戸市石切所* 二戸市浄法寺町* 八幡平市大更 八幡平市田頭* 軽米町軽米* 九戸村伊保内* 矢巾町南矢幅* 滝沢市鶴飼* 花巻市石鳥谷町* 北上市相去町* 遠野市青笹町*	40° 44.3' N	142° 33.8' E	29km	M4.9
2019年01月21日09時24分	青森県東方沖 岩手県 震度2 : 盛岡市薮川* 震度1 : 盛岡市山王町 八幡平市田頭* 軽米町軽米*	40° 41.9' N	142° 36.5' E	28km	M4.5
2019年01月24日06時34分	岩手県沿岸南部 岩手県 震度1 : 大船渡市猪川町 釜石市只越町 釜石市中妻町*	39° 08.0' N	141° 33.3' E	109km	M3.8
2019年01月24日13時48分	宮城県沖 岩手県 震度1 : 大船渡市大船渡町 住田町世田米* 一関市千厩町* 一関市室根町* 一関市藤沢町*	38° 32.2' N	141° 43.2' E	53km	M3.7

発 震 時	震 央 地 名	北 緯	東 経	深 さ	規 模
各地の震度					
2019年01月26日17時23分	岩手県沖	40° 16.8' N	142° 19.6' E	38km	M5.6
岩手県	震度 4	： 普代村銅屋＊ 盛岡市薮川＊			
	震度 3	： 久慈市川崎町 久慈市枝成沢 久慈市長内町＊ 野田村野田＊ 岩手洋野町種市 岩手洋野町大野＊ 盛岡市山王町 盛岡市馬場町＊ 盛岡市渋民＊ 二戸市浄法寺町＊ 葛巻町葛巻元木 岩手町五日市＊ 一戸町高善寺＊ 八幡平市大更 八幡平市田頭＊ 八幡平市叭田＊ 八幡平市野駄＊ 軽米町軽米＊ 九戸村伊保内＊ 矢巾町南矢幅＊ 紫波町紫波中央駅前＊ 滝沢市鶴飼＊			
	震度 2	： 宮古市欽ヶ崎 宮古市五月町＊ 宮古市川井＊ 宮古市区界＊ 宮古市田老＊ 宮古市茂市＊ 久慈市山形町＊ 山田町八幡町 山田町大沢＊ 岩泉町大川＊ 岩泉町岩泉＊ 田野畑村田野畑 田野畑村役場＊ 大船渡市大船渡町 釜石市只越町 釜石市中妻町＊ 住田町世田米＊ 二戸市福岡 二戸市石切所＊ 雫石町千刈田 雫石町西根上駒木野 葛巻町消防分署＊ 葛巻町役場＊ 花巻市大迫町 花巻市石鳥谷町＊ 花巻市大迫総合支所＊ 花巻市材木町＊ 花巻市東和町＊ 北上市柳原町 北上市相去町＊ 遠野市青笹町＊ 遠野市宮守町＊ 一関市大東町 一関市花泉町＊ 一関市千厩町＊ 一関市東山町＊ 一関市室根町＊ 一関市藤沢町＊ 金ヶ崎町西根＊ 平泉町平泉＊ 西和賀町沢内川舟＊ 西和賀町沢内太田＊ 奥州市水沢大鐘町 奥州市水沢佐倉河＊ 奥州市江刺＊ 奥州市前沢＊ 奥州市胆沢＊ 奥州市衣川＊			
	震度 1	： 宮古市長沢 大船渡市猪川町 大船渡市盛町＊ 陸前高田市高田町＊ 大槌町小鎚＊ 一関市竹山町＊ 一関市川崎町＊ 西和賀町川尻＊			
2019年01月27日14時21分	宮城県沖	38° 29.3' N	141° 37.6' E	63km	M3.9
岩手県	震度 1	： 陸前高田市高田町＊ 住田町世田米＊ 一関市大東町 一関市花泉町＊ 一関市千厩町＊ 一関市東山町＊ 一関市室根町＊ 一関市藤沢町＊ 奥州市前沢＊ 奥州市衣川＊			
2019年01月29日03時24分	岩手県沖	39° 20.3' N	142° 03.8' E	48km	M3.1
岩手県	震度 1	： 釜石市只越町			

（注）地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は岩手県のみを示し、＊は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

震度とマグニチュード

震度は揺れの大きさ、マグニチュードは地震の規模を表します

震度は、ある場所がどのくらいの大きさを揺れたかをわかりやすく数値で表したものです。同じ地震であっても、場所毎に震度の値は異なります。

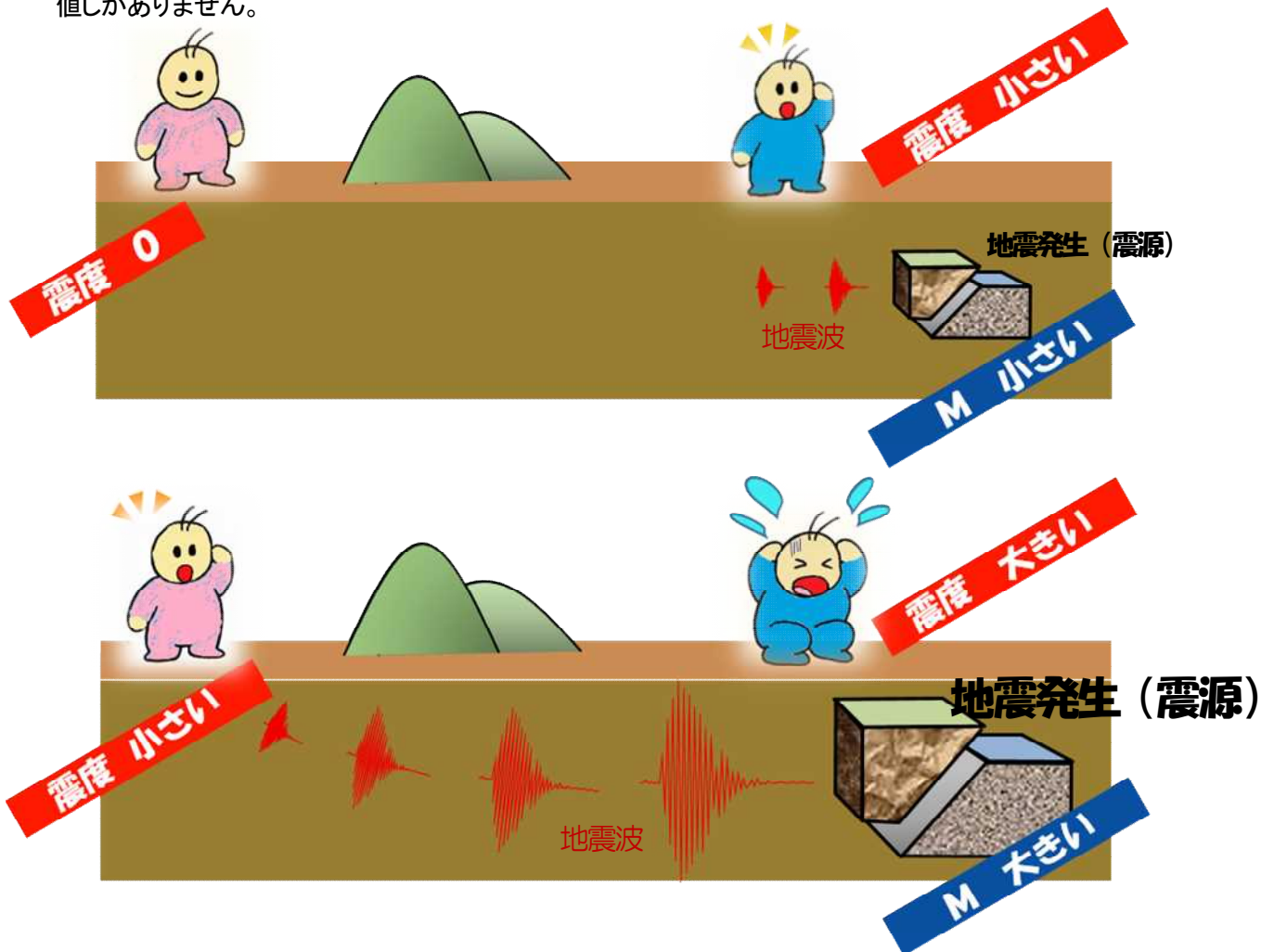
下の絵のように、地下で地震が発生すると、「地震波」という地震の波が、地中を伝わります。人がいるところ(地表)に「地震波」が伝わることで、皆さんは「揺れた!」と感じます。通常は、震源に近いほど揺れは大きく、震源から遠いほど揺れは小さくなります。しかし、地盤の状態によっては地震波の伝わり方が異なるため、震源から距離と揺れの大きさが比例しない場合があります。

なお、気象庁では、**震度**の大きさを震度0～震度7で表し、そのうち震度5、震度6をそれぞれ5弱、5強、6弱、6強と分けた、10段階で表現しています。

マグニチュード(M)は、地震の規模を表したものです。下の絵のように、地下で動いた断層の規模により、「地震波」の伝わり方が異なります。

このように動いた断層の大きさが**マグニチュード**の大きさと考えていただくと、わかりやすいと思います。

震度は1つの地震で、揺れを観測した場所の数だけありますが、**マグニチュード**は1つの地震で1つの値しかありません。



震度について気象庁ホームページ内 URL

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/shindo>